

第64回 東海地区国立高等専門学校 体育大会プログラム

(兼 第13回全国高等専門学校弓道大会 東海・北陸地区予選)

弓 道 競 技

日 時：令和8年7月3日（金） 開会式 16：00
令和8年7月4日（土） 競技開始 9：30

会 場：沼津市総合体育館 弓道場

主管校 鳥羽商船高等専門学校
担当校 沼津工業高等専門学校

会 長 挨 拶



第64回東海地区国立高等専門学校体育大会

会 長 三 村 治 夫
(鳥羽商船高等専門学校長)

第64回東海地区国立高等専門学校体育大会（以下、「体育大会」）の主管校として、鳥羽商船高等専門学校（以下、「鳥羽商船」）の教職員を代表して、ご挨拶を申し上げます。

振り返ると、第1回体育大会は昭和38年に豊田高専で開催されました。以来、この体育大会は回を重ね、本年度（令和8年度）で第64回を迎えることとなりました。

地球温暖化による大気温上昇によって、競技中の熱中症対策が必要となっています。室内競技では、体育館の冷房が不可欠な状況です。加えて国際紛争でホルムズ海峡が封鎖され、原油の輸入が滞った状態が続いています。地球環境の変化と原油価格高騰の影響は体育大会にも波及し、運営費を押し上げています。経費削減は言うに及びませんが、競技中の事故につながる恐れもあるので、東海地区の国立高等専門学校5校は、安全かつ効率的な体育大会の運営の在り方について協議と検討を重ねています。

鳥羽商船は自然豊かな伊勢志摩国立公園に位置しています。伊勢志摩国立公園は令和8年に指定80周年となりました。令和8年4月26日、独立行政法人海技教育機構練習船「日本丸」が鳥羽港に寄港し、歓迎式典ならびに関係各位および小中学生を対象とした体験乗船が行われました。鳥羽商船と鳥羽の海、そして帆船の魅力を身近に感じることができました。

古くは「美し国（うましくに）」と呼ばれた三重県の誕生150周年記念式典に招待されたスポーツ選手が、「試合とは答え合わせのようなもの」と発話された言葉が、筆者にとって印象深く心に残っています。体育大会の各種競技に参加する学生の皆さんも、日々多様な練習を積み重ねてこの日を迎えていると思います。優勝を目指して試合を行う過程で、これまで積み重ねた練習の答え合わせをしてみるのも良いのではないのでしょうか。

最後になりますが、皆さんが体調管理をしっかり行い、充実した体育大会となることを心より願っています。

大会役員

会 長	鳥羽商船高等専門学校長	三村 治夫
副会長	豊田工業高等専門学校長	阿波賀 邦夫
	沼津工業高等専門学校長	山田 光太郎
	鈴鹿工業高等専門学校長	藤本 慎司
	岐阜工業高等専門学校長	大塚 友彦
	鳥羽商船高等専門学校 学生主事	出江 幸重
	鳥羽商船高等専門学校 教務主事	北原 司
委 員	豊田工業高等専門学校 学生主事	早坂 太一
	豊田工業高等専門学校 体育主任	加藤 貴英
	豊田工業高等専門学校 事務部長	深尾 直樹
	沼津工業高等専門学校 学生主事	芳賀 多美子
	沼津工業高等専門学校 体育主任	佐藤 誠
	沼津工業高等専門学校 事務部長	塚本 剛生
	鈴鹿工業高等専門学校 学生主事	大貫 洋介
	鈴鹿工業高等専門学校 体育主任	宝来 毅
	鈴鹿工業高等専門学校 事務部長	鷹野 雅一
	岐阜工業高等専門学校 学生主事	水野 和憲
	岐阜工業高等専門学校 体育主任	麻草 淳
	岐阜工業高等専門学校 事務部長	竹内 美佐子
	鳥羽商船高等専門学校 体育主任	山田 英生
	鳥羽商船高等専門学校 事務部長	喜井 健二
	鳥羽商船高等専門学校 学生課長	松浦 克行
	鳥羽商船高等専門学校 総務課長	大原 真樹
参 与	豊田工業高等専門学校 教務主事	川西 直樹
	沼津工業高等専門学校 教務主事	芹澤 弘秀
	鈴鹿工業高等専門学校 教務主事	田添 丈博
	岐阜工業高等専門学校 教務主事	柴田 良一

開 会 式 次 第

- 一．開会のことば
- 一．優勝杯返還
- 一．競技委員長挨拶
- 一．審判員紹介
- 一．競技上の注意
- 一．選手宣誓
- 一．閉会のことば
- 一．矢渡し

閉 会 式 次 第

- 一．開会のことば
- 一．成績結果発表
- 一．表彰
- 一．審判長講評
- 一．競技委員長挨拶
- 一．閉会のことば

弓道競技要項

期 日 令和8年7月4日（土）
（監督者会議・開会式・矢渡しは前日（金）に行う）
（全国高等専門学校弓道大会東海・北陸地区予選を兼ねる）

会 場 沼津市総合体育館 弓道場
住所：静岡県沼津市御幸町15-1
電話：055-928-5231

開会式 令和8年7月3日（金）16時00分

競技開始時刻 令和8年7月4日（土）9時30分

閉会式 令和8年7月4日（土）競技終了後

チーム人員 監督1名，コーチ1名，マネージャ1名，選手18名，計21名以内とする。

競技方法

- (1) 競技規則は、(公財)全日本弓道連盟規則による。
- (2) 36cm震的による近的競技とする。
- (3) 選手は各校18名以内をもって編成し、男子5名ずつでA、Bの2グループに、女子3名でCの1グループに、残り5名以内でDの1グループにそれぞれ分け、計18名以内で競技を行う。
- (4) 事前に設定された登録締切日以後の登録選手の変更については、試合前日の監督者会議までに「登録選手変更用紙」を提出することにより行う。
- (5) 試合中におけるDからA、BまたはCへの選手変更は四ツ矢毎で可とするが、同一チーム（A、B、C）内で立ち順を変更すること、およびAとBとの間での選手変更は禁止する。
- (6) 競技は坐射にて、1人12射（4射3回）とし、A、Bグループの立ちは10分、Cグループの立ちは7分30秒で射終わること。30秒前に1鈴を、制限時間で2鈴を鳴らし、その後に離れた矢は団体戦において無効となるが、これをもってあてる個人戦の成績においては有効とする。その他事故等があった場合は、審判長の指示および判断に従うものとする。
- (7) 立ち順は、前年度の監督者会議で決定した順番とする。
- (8) 矢は四ツ矢を用い、同一組内での弓の共同使用は認めない。
- (9) 団体成績
 - ① 各校の登録選手における的中数上位10名の総的中数をもって競う。
 - ② ①において各校が同的中数の場合は、以下により順位付けを行う。
 - i. 各校における全登録選手の平均的中数の上位
 - ii. i. が同数の場合、全国高等専門学校弓道大会東海・北陸地区予選における男子団体の部の順位の上位
- (10) 個人成績
 - ① 団体戦の個人成績をもってこれにあてる。
 - ② ①において各人が同的中数の場合は、優勝決定戦については1人1射の射詰を再度行い、勝敗の決するまで続けるものとする。順位決定戦については、1人1射による遠近法とする。

表彰

- (1) 団体の優勝校に優勝杯と賞状，準優勝校に賞状を授与する。
- (2) 男女それぞれ個人の優勝，準優勝，第3位に賞状を授与する。

スケジュール

大会前日(金)	13:30～15:00	公開練習（1校あたり1射場で40分）
	15:10～15:50	監督者会議
	16:00～16:15	開会式
	16:20～16:40	矢渡し（世話校）
大会当日(土)	09:00	開場
	09:30～14:15	競技（昼食休憩を含む）
	14:30～	順位決定戦
	15:30～16:00	閉会式
	16:00	全日程終了

第13回全国高等専門学校弓道大会 東海・北陸地区予選実施要項

期 日	令和8年7月4日(土) (東海地区国立高等専門学校体育大会弓道競技を兼ねる)
会 場	沼津市総合体育館 弓道場 住所：静岡県沼津市御幸町15-1 電話：055-928-5231
競技種目	男子団体の部、女子団体の部、男子個人の部、女子個人の部
参加人員	男子団体の部は、1校A、Bの2チーム以内(1チーム5名、男女混成は不可) 女子団体の部は、1校1チーム以内(1チーム3名) 男子個人の部および女子個人の部は、団体の部出場者の他に1校5名以内
競技方法	① 競技規則は、全日本弓道連盟規則による。 ② 36cm霞的による近的競技とする。 ③ 立ち順は、前年度の監督者会議で決定した順番とし、団体戦に続いて個人戦を行う。 ④ 団体戦の競技時間は、男子は10分以内、女子は7分30秒以内で射終わること。30秒前に1鈴、制限時間で2鈴を鳴らし、その後に離れた矢は団体戦において無効となるが、これをもってあてる個人戦の成績においては有効とする。 ⑤ 男子団体の部は、1チーム5名(5人立2射場)とし、競技は坐射にて各自12射(4射3回)、1チーム60射で的中数をもって競う。同中チームのある場合は、優勝および準優勝決定戦について射詰めで順位決定する。 ⑥ 女子団体の部は、1チーム3名(3人立2射場)とし、競技は坐射にて各自12射(4射3回)、1チーム36射で的中数をもって競う。同中チームのある場合は、優勝および準優勝決定戦について射詰めで順位決定する。 ⑦ 男子個人の部および女子個人の部は、坐射にて各自12射(4射3回)とする。ただし、男子団体の部および女子団体の部に出場者にあつては、その成績をもってこれにあてる。同中者のある場合は、優勝決定戦については射詰めで順位決定する。準優勝および第三位決定は遠近法とする。 ⑧ 試合前の登録選手の変更は、監督者会議に提出されたものを正式とする。また、登録選手によるチーム編成と個々の立ち順についても、監督者会議に提出されたものを正式とする。 ⑨ 試合中の選手変更は、登録者に限り四ツ矢毎とし、以下の規則に従う。 a. 試合中の登録選手間の入れ替え (1) 男子団体A・男子団体Bのいずれかの選手と男子個人の部の選手を入れ替えることができる。 (2) 女子団体のいずれかの選手と女子個人の部の選手を入れ替えることができる。 b. 試合中の選手変更における禁止事項 (1) 同一チーム(男子団体A・男子団体B・女子団体)内で立ち順を変更すること。 (2) 男子団体Aと男子団体Bとの間での選手変更をすること。
表 彰	男子団体の部および女子団体の部は優勝および準優勝、男子個人の部および女子個人の部は1～3位までを表彰する。

全国高等専門学校弓道大会への出場権獲得条件

- ① 男子団体の部および女子団体の部の優勝チームが所属する学校に、それぞれ全国高等専門学校選抜弓道大会男子団体戦および女子団体戦への出場権を与える。
- ② 男子個人の部および女子個人の部の優勝および準優勝者に、それぞれ全国高等専門学校選抜弓道大会男子個人戦および女子個人戦への出場権を与える。
- ③ ①および②で出場権が得られなかった学校は、1名(男女いずれか)に限り、監督推薦により、全国高等専門学校選抜弓道大会個人戦への出場が認められることがある。ただし、推薦対象選手について、男子は8中、女子は7中を最低基準とする。

競 技 役 員

競技委員長	沼津工業高等専門学校 校長補佐（教務主事） 芹澤 弘秀
競技場主任	沼津工業高等専門学校 弓道部顧問 勝俣 安伸
審 判 長	井手 洋司
審 判 員	新井 智雄 小林 正幸 壬生 智巳 稲木 勝治
補 助 員	沼津工業高等専門学校 弓道部員

選 手 名

鈴鹿工業高等専門学校

監 督	飯島 和人
コ ー チ	南部 紘一郎
マネージャー	伊藤 巧真

チーム	学年	学科	氏 名
A チ ー ム	2	M	川村 昂也
	3	C	東 拓海
	2	S	田中 空
	2	I	渡辺 巧
B チ ー ム	3	M	西地 宥人
	4	E	三浦 隼
	4	S	亀井 天
	4	C	松本 悠
C チ ー ム	4	E	菊本 涼介
	3	E	樋口 蒼逢
	3	C	森 愛莉
	3	C	力丸 七海
D チ ー ム	4	S	加藤 心優
	4	I	塩尻 真子
	3	C	白川 楓
	4	S	木村 詩音
E チ ー ム	4	I	野波 万桜
	4	S	篠原 佑真

富山高等専門学校

監 督	河合 孝恵
コ ー チ	
マネージャー	

チーム	学年	学科	氏 名
A チ ー ム	2	C	堀田 暁臣
	2	M	朝倉 真一
	2	M	村田 恭也
	2	M	岡田 悠希
B チ ー ム	3	E	丸山 皓世
	1	E	嶋田 皆斗
C チ ー ム			
	3	C	高野 まなみ
	2	M	渡辺 ももあ
	3	C	松岡 綾乃
D チ ー ム	2	C	政木 彩奈
	4	C	佐伯 希幸
	2	C	清水 梓紗
	2	C	萩中 真衣
E チ ー ム	2	C	前田 ひなた

豊田工業高等専門学校

監 督	早坂 太一
コ ー チ	楠川 充敏
マネージャー	村松 美果

チーム	学年	学科	氏 名
A チ ー ム	2	C	村上 楓
	3	C	佐藤 鵬文
	3	E	小川 悠斗
	3	E	矢富 稜磨
B チ ー ム	2	M	成田 尚睦
	4	E	川村 勇人
	3	I	松本 和樹
	3	A	河辺 啓汰
C チ ー ム	3	M	新庄 蒼太
	1	A	大泉 雄作
	2	E	柚原 未宇
	2	M	五十川 葵
D チ ー ム	3	A	近藤 陽彩
	1	M	藤原 櫻輔
	3	A	久保 大和
	2	I	上野 嵩広
E チ ー ム	2	C	川口 凜花
	2	I	真柴 瑠花

沼津工業高等専門学校

監 督	勝俣 安伸
コ ー チ	小柳出 訓実
マネージャー	白取 希逢

チーム	学年	学科	氏 名
A チ ー ム	3	D	五島 啓輔
	4	C	舩田 朝陽
	2	D	下山 陽大
	2	C	中山 海翔
B チ ー ム	2	S	望月 武瑠
	4	C	浅井 智貴
	2	D	丹羽 奏叶
	2	C	花村 駿太
C チ ー ム	2	C	峰村 亮多
	3	E	水野 拓海
	4	D	酒井 都初
	4	E	兵頭 怜
D チ ー ム	3	D	夏目 美月
	3	C	小川 みつき
	2	C	高橋 里奈
	2	D	伊藤 礼
E チ ー ム	3	D	黒木 菜瑠実
	3	C	小林 夢羽

M 機械工学科
E 電気電子工学科
I 電子情報工学科
C 生物応用化学科
S 材料工学科

M 機械システム工学科
E 電気制御システム工学科
C 物質化学工学
I 電子情報工学科
K 国際ビジネス学科
S 商船学科

M 機械工学科
E 電気・電子システム工学科
I 情報工学科
C 環境都市工学科
A 建築学科

M 機械工学科
E 電気電子工学科
D 電子制御工学科
S 制御情報工学科
C 物質工学科

																		総合順位				
																		総の中数				
					D				C						B					A	個人順位	
																						個人上位10
																						個人的中数
																						射 的 内 容
小林 夢羽	黒木 菜瑠実	伊藤 礼	高橋 里奈	小川 みつき	夏目 美月	兵頭 怜	酒井 都初	水野 拓海	峰村 亮多	花村 駿太	丹羽 奏叶	浅井 智貴	望月 武瑠	中山 海翔	下山 陽大	舩田 朝陽	五島 啓輔	氏 名				
18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1					
沼津工業高専																		学校名				

																				総合順位						
																				総的中数						
					D					C						B						A	個人順位			
																									個人上位10	
																										個人的中数
																										射 的 内 容
篠原 佑真	野波 万桜	木村 詩音	白川 楓	塩尻 真子		加藤 心優	力丸 七海	森 愛莉		樋口 蒼逢	菊本 涼介	松本 悠	亀井 天	三浦 隼		西地 宥人	渡辺 巧	田中 空	東 拓海	川村 昂也		氏 名				
18	17	16	15	14		13	12	11		10	9	8	7	6		5	4	3	2	1						
鈴 鹿 工 業 高 専																				学校名						

																					総合順位					
																					総の中数					
					D					C						B						A	個人順位			
																										個人上位10
																										個人的中数
																										射 的 内 容
真柴 瑠花	川口 凜花	上野 嵩広	久保 大和	藤原 櫻輔		近藤 陽彩	五十川 葵	柚原 未宇			大泉 雄作	新庄 蒼太	河辺 啓汰	松本 和樹	川村 勇人		成田 尚睦	矢富 稜磨	小川 悠斗	佐藤 鵬文	村上 楓		氏 名			
18	17	16	15	14		13	12	11			10	9	8	7	6		5	4	3	2	1					
豊田工業高専																					学校名					

[illegible]

個人情報及び肖像権に関する取扱いについて

第64回東海地区国立高等専門学校体育大会

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

大会出場者で、ホームページ、報道等に、個人名を公表して欲しくない者は、学校を通して大会事務局に申し出てください。事前に申し出のない場合は、公表します。

救 急 病 院

7月4日（土）

診療区分	病 院 名	住 所	電話番号	受付時間
外科・内科	池田病院	長泉町本宿4 1 1－5	055-986-1212	12時～18時

夜間

診療区分	病 院 名	住 所	電話番号	受付時間
内科・小児科・外科	沼津夜間救急医療センター	沼津市日の出町1-15	055-926-8699	18時～翌朝7時

【問合せ】 救急協力医テレホンサービス：055-958-0119

※協力医は変更になる場合がありますので、事前に電話で確認してください。

第64回東海地区国立高等専門学校体育大会 弓道競技会場



【注意事項】

競技会場（沼津市総合体育館）はバス留め置きが出来ません。
バスは、沼津高専ロータリー駐車場またはホテルに駐車願います。